

事業所名

多機能型事業所ITSUMO

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

30 日

法人（事業所）理念	(ビジョン) ありのままに、そのままに、みんながつながり支え合える社会をつくる (ミッション) 新たな福祉の挑戦を地域から							
支援方針	一人ひとり違ってみんないい・個として愛されるべき存在である・を軸として本人・家族の望む未来に近づけるよう、作業療法士・公認心理師・理学療法士・言語聴覚士・社会福祉士・保健師・保育士・児童指導員による専門チームにて今の状態を正しく評価し療育を行う事でのびのびと成長していけるようにする。							
営業時間	9 時	0 分	から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	来所時の手洗い、検温、表情に加え、引き渡し時には体調について情報を共有し、利用当日の活動への影響を把握する。生活習慣の形成を目的に、靴・靴下、衣服の着脱や、排泄時の更衣、清拭などの技術を獲得できるように支援していく。また、構造化など環境を整え、自発的に身支度に意識が向けられるよう支援する。 (具体例：絵カードを使った身支度の順番の把握、更衣の練習、机上活動において上肢の運動・動作の練習の実施など)						
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基盤となる上下肢の動きや、体幹の支持性、姿勢の安定が図れるよう、様々な遊具を使い機能、能力の向上のための支援をする。また、感覚の特性を評価し、生活場面、集団場面でも過ごしやすくなるよう、環境調整を行う。 (具体例：平均台、トランポリン、トンネル、滑り台などの遊具を使用したバランス能力や運動の練習、立位や座位での活動の実施など)						
	認知・行動	数量、大きさ、重さ、色の違いなど、様々な物の変化を認知する能力を向上させるために、様々な教材を使い個別で支援する時間と、日々の集団生活の支援の中で認識できるように支援する。また小集団の場面では、お友達との関わりの中で、自分の行動が相手に作用することを学べるよう支援していく。 (具体例：パズル、型はめ、ベグ、迷路や時計、線引きなどのプリント課題の実施など)						
	言語コミュニケーション	日常の会話の中で、具体的なことや物、体験と言葉の意味を結び付けるなど、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行っていく。構音障害や発達性協調運動障害がある場合は、1音ずつの口腔機能の練習や舌の運動の練習など、言語機能の練習も実施する。読み書きの能力向上のための支援をしていく。 (具体例：絵カードのマッチング、発声練習、言語練習、舌の運動、挨拶や礼節、気持ちを伝える練習の実施など)						
	人間関係社会性	職員との信頼関係を構築し、愛着行動を形成するための支援を行う。集団生活が苦手な児には、安心できる居場所を提供し職員と一緒に活動に参加するなど、スモールステップで集団に参加できるよう支援する。一人遊びが中心になる児には、職員が介入し連合的な遊びに発展させ、一緒に遊んでいる感覚を育てる支援をする。 (具体例：リトミック、パラバルーン、サーキット、楽器遊び、ペープサートシアターなど)						
家族支援	利用児の特性や育児における「困り感」、今後の支援についての相談ができる時間を提供する（きょうだい児の相談も受ける）。また座談会や講座を通して、他の保護者との交流ができる場を提供する。	移行支援	進学などでステージが変わるときに、スムーズに次の社会生活に移行できるよう移行先との連携を図り、配慮が必要な児に対しては移行先と調整し支援方法の伝達を行う。					
地域支援・地域連携	同様の児童発達支援事業所や、各種地域支援団体との連携を構築し、利用児に対する適切な支援方法を確立させる。家庭全体の支援が必要な場合は、地域支援のコーディネートを実施する。	職員の質の向上	職場内または外部の研修会への参加を促し、研修後は伝達講習をすることによる職場へのフィードバックを図っている。					
主な行事等	保育所等訪問事業の実施、各方面への見学や連携会議の実施、FESTA（お祭り）の開催による地域住民との交流の実施							